

「別刷」 2016年2月号

手をつなぐ

発行：〒520-0052

大津市朝日が丘 1-11-3 滋賀民研

TEL& FAX 077-525-5364

E-mail: shiga.minken@gmail.com

<http://shiga-minken.jimdo.com/>

2015年度 会費未納者が80名

滋賀民研は会委員の皆様からの貴重な会費によって活動が保証されている民間教育研究所です。未納の方は至急 納入をお願いいたします。

子ども・子育て・教育のための 行事予定

月	日	曜日	時刻	内容
2	11	日	14:00	「建国記念の日」を考え戦争法廃止をめざす滋賀のつどい
	13	土	13:30	事務局会議
	14	日	13:00	滋賀民研 研究集会 (大学サテライトプラザ彦根)
	20	土	14:00	「市民の会 しが」結成総会
	27	土	13:30	発送作業・事務局会議

いじめプロジェクト

階大会議室 (JR 大津駅から徒歩1分)

* 講演: 「侵略戦争の歴史から学び、安倍政治を考える」(帝塚山学院大学教授・川本治雄さん) 質疑応答のあと参加者によるトーク

* 入場無料

* 主催: 滋賀県平和委員会、革新の会しが、治安維持法国同盟県本部、自由法曹団滋賀支部

◆滋賀県教育史研究会例会

* 期日: 2月20日(土) 14時~17時

* 場所: 滋賀大学サテライト (大津駅前日本生命ビル4階)

* 内容: 「滋賀の教育人物史」(仮題) 出版計画一選定人物の報告

* 人物が固まってきて、執筆予定者からの発表と討議

日時: 2月6日(土) 10:00~12:30

会場: 教文会館会館

教育 110 番 077-523-3715

滋賀民研の電話教育相談

◇相談時間 (祝日除く) 水曜 14~16時

子育て・教育のこと。お気軽にお電話ください。

先生の悩みもお聞きます。〈秘密厳守〉

◆「建国記念の日」を考え戦争法廃止をめざす 滋賀のつどい

* 2月11日(木) 14:00 大津市・滋賀弁護士会館 4



◆滋賀歴教協 2月例会

*日 時 2月21日(日) 15:00~

*場 所 教文会館(大津)

*報告者 参加者全員(最近の授業実践や研究事例を持ち寄り、ミニ報告を行う。)

【歴教協 第68回沖縄大会レポートの募集】

〆切: 3月8日(火) 問い合わせは奥村まで
(e-mail: n_okumura_m@yahoo.co.jp)

◆第16回『開かれた学校づくり』全国交流集会 in 愛知

*会場: 名古屋市立中央高等学校

*日程 2月13日(土) 13:00~17:00

シンポジウム 『主権者を育てる視点の多様な実践から学ぶ』

- ①長野県辰野高校 「辰野高校の三者協議会のとりくみについて(仮題)」
- ②名古屋市立山田高校 「山田高校のより良い学校づくりをめざす生徒・保護者・教職員による意見交流会について」
- ③名古屋市立菊里高校生徒会 「私たちが考える学校づくり」
- ④名古屋大学附属中・高校 「SSHとSGH 名大附属がめざす学校づくり part II ~名大附属が考えるグローバル人間とは~」
- ⑤愛知黎明高校 「地域と父母と他校とつながる愛知黎明高校生徒会の活動報告」
- ⑥杉浦真理氏(立命館宇治中学・高校) 「祝18歳選挙権 シティズンシップ教育で、18歳を市民に」

2月14日(日) 9:00~11:30

全体会での発表を含め、参加者での意見交流を

中心に行います。

○第一分科会『生徒参加の学校づくりの実践交流』

①名古屋市立山田高校 「山田高校のより良い学校づくりをめざす生徒・保護者・教職員による意見交流会について」

②名古屋市立菊里高校生徒会 「私たちが考える学校づくり」

③名古屋大学附属中・高校 「SSHとSGH 名大附属がめざす学校づくり part II ~名大附属が考えるグローバル人間とは~」

④愛知黎明高校 「地域と父母と他校とつながる愛知黎明高校生徒会の活動報告」

○第二分科会『子ども参加・主権者教育の実践交流』

①大村恵氏(愛知教育大学) 「豊田市子ども条例および子ども参加」

②杉浦真理氏(立命館宇治中学・高校) 「祝18歳選挙権 シティズンシップ教育で、18歳を市民に」

③伊藤和彦氏(名古屋市立桜台高校) 「主権者教育をはじめるとあって」

④坂口敦氏(愛知県立春日井工業高校) 「意見表明をする授業」

○第三分科会『保護者・教職員共同の学校づくりの実践交流』

①玉置崇氏(岐阜聖徳大学) 「保護者・地域と一体となって取り組む愛される学校づくり」

②館柁暁氏(愛知黎明高校) 「生徒・父母・教師三者で学校づくりをすすめる愛知黎明高校の歴史と取り組み~学校づくりフォーラム・父母提携活動を中心に~」

③馬場末春氏(あいち定通父母の会) 「教育の砦 III~公立の定通信制高校「説明会」24周年父母と教職員共同の軌跡~」

【全体会と閉会行事】11:40~12:30

【参加申込および問い合わせ先】

e-mail: hirakareta2015@gmail.com

F a x : 052-261-5684

申込締切: 1月29日(金)



日本科学者会議（JSA）講演学習会

「滋賀の教育史から何を学ぶか」

下記の要領で滋賀支部講演学習会を開催いたします。ふるってご参加ください。

日時：2016年2月27日（土）午後3時～4時50分

場所：草津市市民交流プラザ 小会議室2

講演概要 2015年11月に『滋賀の教育史—寺子屋・藩校から小学校へ—』（文理閣）を出版しましたが、これは私の滋賀県教育史に関する3冊目の著書です。今回の出版では、近代から現代まで滋賀県の豊かな教育史の流れを、地域の教育遺産として引き継いで発展させるために、学ぶべき事は何かを考える材料を提供したつもりです。

戦前と戦後の境目を限りなく曖昧にしようとし、戦前教育の反省から出発した戦後教育の改革の原点をなくす政府の姿勢に抗して、私なりに戦後70年にこだわって2015年に刊行しました。『滋賀の教育史』の内容は、第1部 寺子屋・藩校から小学校・欧学校へ、第2部 滋賀の教科書史・教材史、第3部 滋賀の授業史・カリキュラム史です。

講演では、近世の寺子屋や藩校、明治初期の小学校設立・開校と欧学校、地域版教科書、明治期の授業や学校行事、大正期の「直観科」授業や自由教育、昭和戦前期の郷土教育や国定教科書、国民学校の「郷土の観察」、戦後直後の「GHQ指令綴」文書、カリキュラム改革と教科研究のテーマの中から、1. 大津と彦根の小学校の設立・開校、2. 滋賀の地域教科書の発行、3. 国民学校期の授業内容、4. 戦後直後のGHQ指令綴文書、の4つを取り上げていきます。（木全）

（JR南草津駅前 フェリエ南草津5階）

講師：木全清博さん（京都華頂大学教授・滋賀大学名誉教授）

なお、講演学習会の後に講師の先生を囲んで懇親会を行いますので、多数ご参加下さい。

教育関係者の来聴歓迎（無料）、申込み不要

問い合わせ先：小島 彬（JSA滋賀支部事務局長）

Tel, Fax : 077-589-3724, e-mail: akrkojima@ybb.ne.jp

JSAは日本の科学が自主的、総合的に発展することを願い、科学の分野に携わる者の社会的責任を果たすようにと1965年に創立され、良心的な自然、社会、人文科学の科学者・研究者、技術者、医者、弁護士、教員、院生などが結集し、活動している総合学術団体です。

滋賀民研 2015年度 研究集会

今日の学校・教師の抱える苦悩は何か、そして希望をどこに見出すか

あなたの学校・学級、風通しがいいですか
それとも、・・・**ブラックですか？！**

2007年度から実施されている全国一斉学力・学習状況調査（「全校一斉学力テスト」）が、個々の学校の教育内容に介入してきています。調査を通じた授業改善と学校づくりが文科省や各県、各地教委から指示されています。そして、追い詰められた教師たちは子どもたちの指導に公然と「汚れた手」を使う。「策略 ブラック学級づくり～子どもの心を奪う！クラス担任術」という本の売れゆきがそのことを物語っているようです。そんな中で現場の先生たちは元気な自分を発揮できているのでしょうか。悩みはないのでしょうか。子どもたちは今、どんな様子なのでしょうか。教育現場で日々奮闘する先生たちの本音をさぐり、今日の厳しい現実に基づいて子ども、学校を語り実践の展望をさぐっていきたいと思います。



【日時】 2015年2月14日（日） 13:00受付 13:30開会

【会場】 大学サテライトプラザ彦根

【プログラム】

◆ あいさつと基調報告 13:30～14:00

（基調報告；滋賀民研事務局 桂田さん）

◆ 実践報告と討論&傍聴 14:00～15:30

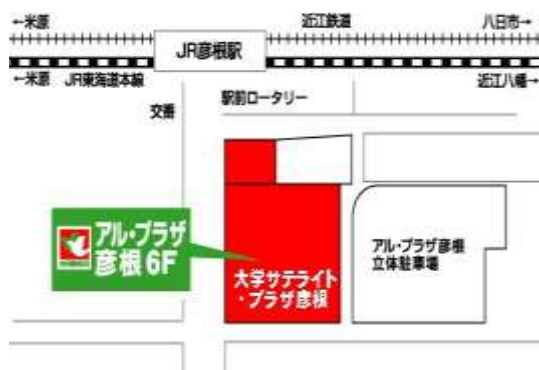
【ステージで】

- ①レポーター（小学校教員）が実践報告をする
- ②報告に基づいて質疑応答、討論をする（司会・進行；石垣雅也さん）

【フロアでは】ステージで行われる実践報告と質疑応答、討論を聞く

ステージでの議論について会場全体で意見や感想を述べ合う

◆ まとめ 15:30～16:00（滋賀大学教育学部 岸本実さん）



※会費：500円（会員外 1000円 大学生以下 無料）